

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル
 株式会社 ルネサス テクノロジ
 問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/inquiry>
 E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-H8*-A422A/J	Rev.	第1版
題名	ソフトウェアスタンバイモード使用上の注意		情報分類	技術情報	
適用製品	下記に示す	対象ロット等	関連資料	下記に示す	
		全ロット			

H8S/2628,H8S/2604グループにおいてPLL 4逓倍の設定でソフトウェアスタンバイモードを使用する場合、下記の使用上の注意がありますので、ご案内申し上げます。

記

1. 不具合内容

以下の条件が重なるとソフトウェアスタンバイモードから正常に復帰しない場合があります。

- (1) LPWRCRをSTC1=1,STC0=0 に設定 (4逓倍の設定)
- (2) (1)の状態ソフトウェアスタンバイモードに遷移し、復帰させた場合

2. 対策

(1) ソフトウェアスタンバイモード遷移時

ソフトウェアスタンバイモードに遷移する前にLPWRCRをSTC1=1,STC0=0 以外に設定してください。
 クロック切り替え遅延時間の調整の為 nop 命令を挿入してください(最小1命令)。
 または、LPWRCR の書換え後に SBYCR を書換えてください。

(2) ソフトウェアスタンバイモード復帰後

ソフトウェアスタンバイモードから復帰した後にLPWRCRのSTC1,STC0を4逓倍に再設定してください。

対象製品

- 関連資料 -

H8S/2628 グループ ハードウェアマニュアル (2005年9月第3版 RJJ09B0168-0300)

H8S/2604 グループ ハードウェアマニュアル (2007年11月第1版 RJJ09B0437-0100)